

捨てていませんか？ 「喫煙マナー」

たばこによる火災は、毎年発生原因の上位に入っています。喫煙者の火気の管理がしっかりしていなかった場合や不注意などの「マナー違反」により発生しているといえます。愛煙家の皆さん、吸殻といっしょに捨てていませんか？「喫煙マナー」



しょうぼうの広場

火災、救急、救助は…
119

●たばこの投げ捨てをしない

たばこによる火災の約60%が「投げ捨て」により発生しています。特に山林など屋外での投げ捨ては、大規模な山火事の原因になりますので、

- ・携帯用灰皿を使う
- ・水をかけて消火する

などにこころがけ、投げ捨てをしないようにしましょう。

●火のついたたばこを放置しない

たばこを灰皿においたまま用事をすませて戻ってみると、テーブルに落ちて焦げていた！といった経験はありませんか？

たばこの投げ捨ての次に多いのがこのような事例からの出火です。

一旦火をつけたたばこは確実に消すのが、喫煙者の責任です。灰皿に水を入れておくなどして、消えたことを必ず確認しましょう。



●寝たばこは絶対にしない

平成17年の建物火災による死者は全国で1,611人で、そのうちたばこが出火原因の死者は266人と最も多く、その大半が発見の遅れ等の「逃げ遅れ」です。喫煙中にそのまま寝入ってしまった場合、火災の発見が遅れ、逃げ遅れてしまう大きな要因となります。特に飲酒後の寝たばこは大変危険ですので絶対にやめましょう。

●歩行中は喫煙しない

普段何気なく吸っているたばこの温度は約700°Cにもなります。

最近街中での歩きたばこによるやけどが問題となりましたが、火災予防の面からも重要な問題といえます。もし歩きながらたばこを吸っていて、知らないうちに燃えやすい物に落ちたら・・・

たばこは必ず灰皿のある場所で吸い、くわえたばこで家の中などを歩き回るのはやめましょう。

11月の救急・火災情報

救 急		火 災	
◆出動件数	84件	◆発生件数	1件
◆運んだ人	80人	◆内 訳	
◆内 訳		建 物	1件
急 病	41件 39人	死 者	2名
交通	11件 10人		
その他	32件 31人		

消防一口メモ

つぎ足し給油厳禁

自分で給油するセルフ式ガソリンスタンドの給油設備は、車やバイクの燃料タンクが満たされると、自動的に給油を停止する仕組みになっています。

しかしこの装置が作動した後、さらにガソリンを入れようとつぎ足し給油をしたために、タンクからガソリンが吹きこぼれる事故が全国で多発しています。ガソリンは引火しやすく大変危険ですので、自動停止装置作動後のつぎ足し給油はしないようにしましょう。